



今年度、下松市教育委員会より各中学校区に地域学校協働活動推進員を委嘱したことは、大きな成果である。それにより、コミュニティ・スクール、地域協育ネットの取組も充実してきており、成果も現れてきている。今後は情報発信の工夫により、学校に関わる関係者以外の多くの人々への周知を図っていくことが、さらなる充実に向けて大切になってくる。

下松市の推進構想

1 下松市がめざすコミュニティ・スクールの育てたい児童生徒像

下松市学校づくりの基調

コミュニティ・スクールの推進による地域とともにある信頼される学校づくり

下松市のコミュニティ・スクールのねらい

- ふるさとを誇りに思い、地域に貢献する児童生徒の市民性を育てる。
- 保護者や地域の力を学校運営に生かし、教育課題を解決していく。
- 小中連携や地域連携を強化し、地域の中核を担う学校づくりを進める。

下松市がめざす児童生徒像

ふるさとに誇りをもち たくましく未来を切り拓く 心豊かな児童生徒

育てたい児童生徒像
中学校区で共有

熟議 小中合同
学校運営協議会

保護者の願い 地域の願い

2 コミュニティ・スクールを核とした地域連携推進体制

(1) 中学校区をまとめる統括コーディネーター（地域学校協働活動推進員）の委嘱



下松中校区
中村 啓さん

私の願いは、下松市子どもたちが豊かな教育環境の中で心豊かに逞しく成長して欲しいことです。そのためには、地域の応援は子どもたちの成長にとって大きな力となります。私は応援の輪が少しずつ広がることを願い、自分の役割をしっかりと果たしていきたいと思っております。



久保中校区
藤江 旬仁さん

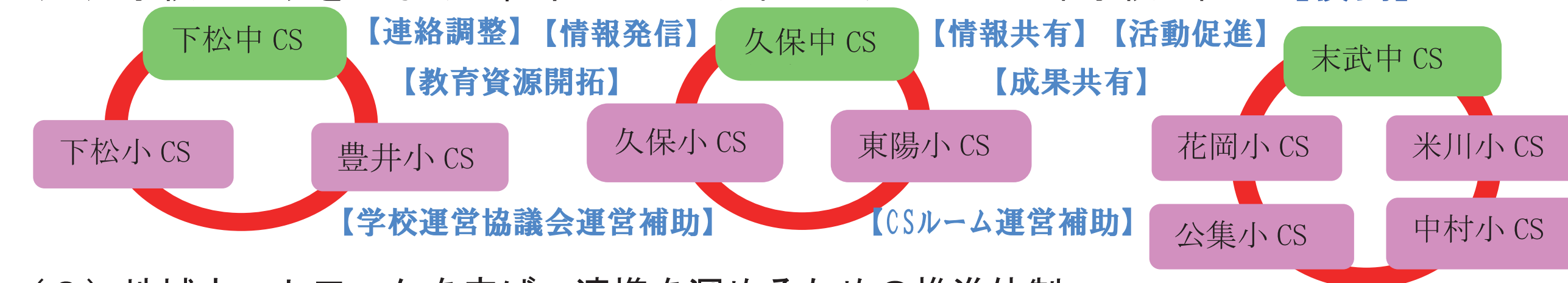
久保中学校区は豊かな自然に恵まれ、春・小鳥がさえずり、夏・ホタルが乱舞、秋・黄金の稲穂が実り、冬・満天の星が輝く素晴らしい環境の中で、学校・保護者・地域の方々とのふれあいを愛し心豊かでたくましく生きる「久保っ子」の育成をめざします。



末武中校区
藤田 典敬さん

今年度、末武中学校区は学校評価共通項目の「あいさつ」を小中連携重点行事とし、一斉あいさつ運動を4小1中中で実施します。先生、CS推進委員、児童生徒があいさつを行いすがすがしい一日の始まりとします。将来的には地域住民も巻き込んだ行事にしたいと考えています。

(2) 学校と地域をつなぐ下松市 CS コーディネーターの全小中学校配置と【役割】



(3) 地域ネットワークを広げ、連携を深めるための推進体制

協働体制… 下松市 CS 推進協議会 統括コーディネーター連絡会 CSコーディネーター連絡会 等で推進
組織活用… 心豊かな子どもを育てる推進事業協議会
下松市幼保・小連携教育推進協議会 小中連携教育推進協議会 等で推進

3 下松市コミュニティ・スクールの成果と課題

【成果】 学校～家庭～地域の連携をとおして変わってきたこと

- 学校運営協議会が活発に協議できる場になってきた。 課題を出し合い共に考える関係
- 学校と地域の連携・協働が具体的かつ組織的になった。 気軽に相談できる温かい関係
- 地域全体で子どもを育てようとする場と機会が増えた。 互いの力を発揮する協働関係
- CSを核として連携に関わる各種組織の整理・統合と効率化が進んだ。
- 地域を愛する子どもが育っている。

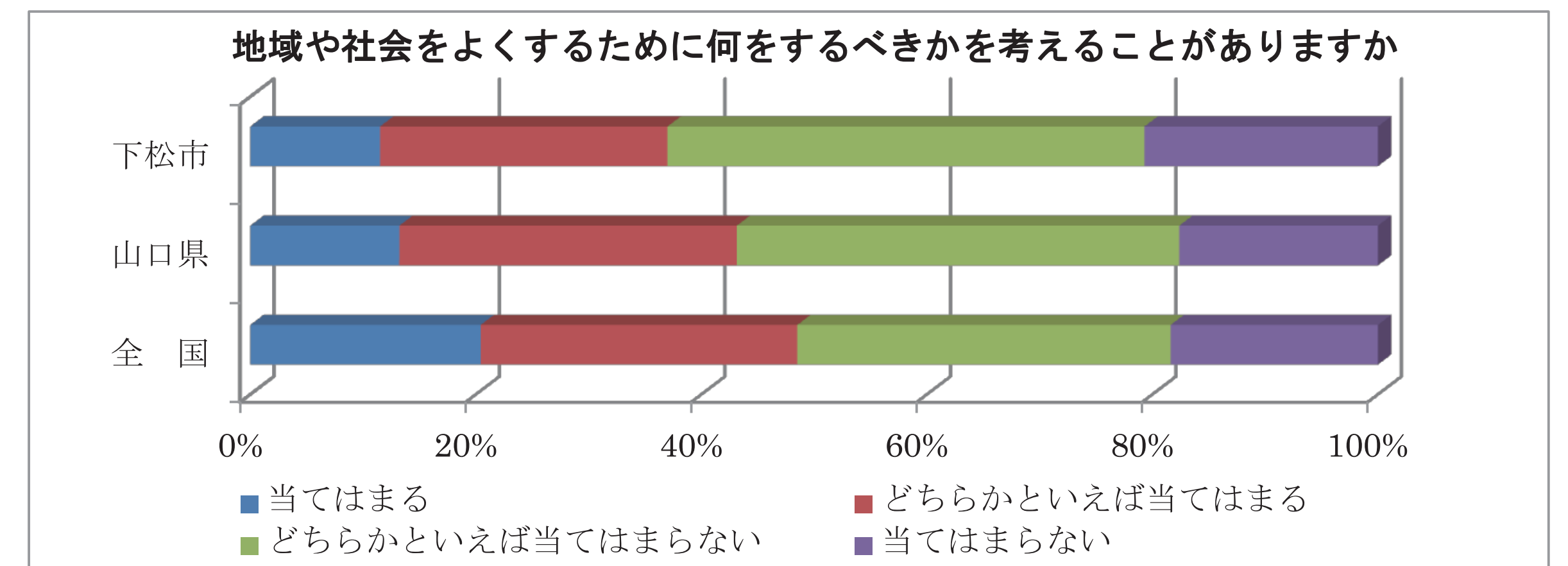
中学生から小学生へのメッセージ
(夏休みの地域行事の閉会式にて)

・・・ 6年生の皆さんは来年中生になります。私たちと一緒にスタッフとして地域の行事を盛り立てていきましょう。1年生から5年生の皆さんは、来年もぜひこの行事に参加して楽しんでください。そして私たちの地域を大好きになってください。

【課題】 さらに取り組みたいこと

- 教職員の参画及び意識の向上
- 地域への周知と地域ぐるみの活動
- PTA 組織との効果的な連携
- 児童生徒の意識の向上

参考 (2019年度 全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙の結果より【中学校】)



4 課題解決に向けた今後の重点取組事項

- 統括コーディネーター(地域学校協働活動推進員)連絡会の継続実施
- 下松市 CS コーディネーターと地域連携担当教職員等の合同研修会の開催
- 下松市事務の共同実施協議会の研修と事務職員の参画
- 下松市幼保・小連携推進協議会で CS の周知と連携強化
- 市 CS 推進だよりの公民館掲示 啓発パネルの公民館巡回展示
- 下松市社会教育講座における CS の周知と理解促進

<進捗を図る指標>

- ◇ 全中学校区で小中合同学校運営協議会の開催
- ◇ 地域と小・中学校を通じた「学校・地域連携カリキュラム」の作成と共有

下松中・下松小・豊井小
「中学校区合同研修会(熟議)で育てたい子ども像を決定」

地域ぐるみで子どもたちに関わろうとする取組



3校の学校運営協議会委員と教職員、保護者代表が一堂に会して「15歳の下松っ子像」について熟議を行い、地域で育てたい子どもの姿についての思いを共有した。

久保中・久保小・東陽小
「中学生の企画運営による交流行事の実施」

子どもたちが地域活性化に関わる取組



小学生対象の夏休み地域交流行事に、中学生が企画の段階から加わり、様々なアイデアを出して活動を盛り上げたり、スタッフの一員として行事を運営したりした。

末武中・公集小・花岡小・中村小・米川小
「小中合同あいさつ運動」

地域ぐるみで子どもたちに関わろうとする取組



中学校区の小中学校が学期に1回一斉あいさつ運動を行う。小学校には出身中学生が出向き、保護者や地域の人と一緒に小学生と元気なあいさつをかわしてさわやかな朝を迎えている。

公集小「旗体操復活で地域と団結」

PTA組織と効果的に連携した取組



コミュニティ・スクールの動きの中で学校運営協議会委員を務める保護者の呼びかけにより復活した伝統的な「旗体操」。春季運動会で保護者や地域の人が児童と一緒に力強く披露した。

中村小
「大人も子どももみんなが楽しむふれあい広場」

地域ぐるみで子どもたちに関わろうとする取組



地域の行事「ふれあい広場」では誰もが気軽に仲よくふれあえるように“大人と子どもがたむろする場”を設けている。多くの中学生ボランティアが活躍する場にもなっている。

米川小
「共に支え合う学校と地域」

学校・地域が共に伸びようとする取組



学校から地域にこまめに情報発信をすることにより効果的に地域資源を活用して教育活動を充実させると同時に、地域にとっても学校が生涯学習や研修の場となっている。

花岡小
「小学生が取り組む地域貢献のかたち」

子どもたちが地域活性化に関わる取組



吹奏楽部の活動として積極的に地域に出向いて施設や地域行事で演奏することにより、多くの地域の方に音楽を楽しんでもらったり地域の祭りを盛り上げたりしている。

下松中・学校運営協議会
「各種検定試験に小学生や保護者も挑戦」

学校・地域が共に伸びようとする取組



漢字・数学・英語検定を、教職員に代わって学校運営協議会委員や地域スタッフが実施。中学生だけでなく、校区の小学生や保護者も挑戦し、学習意欲を高めている。